

令和元年度北本市協働事業提案制度事業一覧

事業名	提案者	事業内容	事業実績	担当課
1 スケアード・ストレイトによる高齢者の交通安全教室	鴻巣地区交通安全協会	北本市内の高齢者を主な対象として、スケアード・ストレイト教育技法による交通安全教室を実施する。県内で発生した交通死亡事故のうち約半数が高齢者の被害となっているため、高齢者に対する交通安全啓発事業を実施することにより、高齢者の交通安全意識の高揚及び交通事故の減少を図る。	【開催日時】 令和元年10月24日午前9時30分～11時 【参加人数】 60人 【事業効果】 高齢者に起こりやすい自転車事故を中心とした内容であったため、参加者一人ひとりに対して改めて交通ルールや安全確認の大切さを認識してもらうきっかけを提供でき、交通安全意識の高揚に効果を得ることができた。	くらし安全課
2 北本秋の収穫祭2019	北本市観光協会	荒川周辺施設や北本の自然を活用し、複数の会場でワークショップやスタンブラリーなどのイベントを複合的に行う「北本秋の収穫祭2019」を開催する。荒川周辺地域の連動的・一体的なブランディングを行うことによって、豊かな自然環境の効果的なPRと来訪機会の創出、他団体や様々な関係者の関わりによる魅力的な事業の創出などにつなげる。	【企画会議】 3回 【開催日時】 令和元年10月20日午前10時～午後4時 【事業効果】 台風19号の被害により一部内容を縮小しての事業開催となったが、自然体験ツアー、体験プログラム、イベント会場に多くの来場者があった。また、来場者アンケートによると、市外からの来訪者が半数以上であり、市外に向けて北本市の豊かな自然環境のPRと来訪機会の創出をすることができた。	地域経済推進課
3 買い物を楽しもう！プロジェクト「買い物サロン」	北本市社会福祉協議会	今後、さらに地域の高齢化が進む中で、いつまでも住み慣れた地域で暮らし続けるための支援として、買い物を中心としたサロンを開催する。買い物に行くことが困難な高齢者を対象として、商業施設への送迎やボランティアによる買い物支援を行うとともに、商業施設内で談話の時間を設ける。歩いて買い物をするこでの介護予防や地域とのつながりを作ることが期待できる。	【実施状況】 買い物サロンは新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。運転ボランティア養成として、移送サービスネットワーク主催の養成講習会に9名参加。 【事業効果】 買い物サロンは開催できなかったが、運転ボランティアの養成と買い物付き添いボランティアの募集ができ、買い物支援の体制を整えることができた。また、店舗とのネットワークを構築することができた。	高齢介護課
4 子どもの読書活動推進事業	北本市子ども文庫連絡会、北本子ども本を楽しむ会	「メディアにむしばまれる子どもたち」の著者である田澤雄作氏の講演を聞き、子どもたちの現状を知り、子どもたちの健やかな成長のために何をすべきかを考えるきっかけをつくる。	【開催日時】 令和2年1月19日午後1時30分～3時30分 【参加人数】 83人、保育の児童6人 【事業効果】 テレビゲーム・スマートフォンなどの電子メディアが子どもの健康に及ぼす影響や、子どもの健やかな成長のために読書活動が重要であることを知ることができ、子どもたちの成長のために大人が何ができるかを考えるきっかけづくりができた。	生涯学習課
5 多世代が交流できる居場所づくり	にこにこ童具	年代や障害の有無に関わらず、幅広い活動が行える集団童具遊び(積み木遊び)を通じ、多様な人々が交流できる居場所づくりを提供する。これにより、居場所づくりの推進だけでなく、関係する団体の連携が生まれ、情報共有や地域の活性化につながる。	【開催状況】 集団童具遊び 計10回 3月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止 【参加人数】 延べ218人 【事業効果】 一般参加者を募り集団童具遊びを開催したほか、本町西高尾地区親子サロン「ほっとほっとサロン」と西小学校放課後子ども教室でも開催することができた。集団童具遊びの機会が増えることで、年代や障がいの有無に関わらず、交流できる場が広がり、居場所づくりが進みつつある。	福祉課